

第16回大気化学シンポジウム(2006年1月11-13日) プログラム(12月21日付)

1月11日 13:00 開始		
対流圏 - 物質分布と輸送		
座長: 佐竹晋輔 (総合地球環境学研究所)		
13:00	13:20	0:20 東アジア域の汚染源からの輸送に着目した対流圏NO ₂ 分布の解析 ○太田絵美、瓜田直美、野口克行、林田佐智子 (奈良女子大・理)、A. Richter, J. P. Burrows (University of Bremen)
13:20	13:40	0:20 MAX-DOAS装置による対流圏中のNO ₂ とO ₄ の観測 ○入江仁士、金谷有剛、秋元肇、岩淵弘信 (FRCGG/JAMSTEC)
13:40	14:00	0:20 秋季日本近海で観測されたヘイズの特徴について ○久慈 誠、近藤 優美、林田 佐智子 (奈良女理)、塩原 匡貴、矢吹 正教、原 圭一郎 (極地研)、小林 拓 (山梨大)、早坂 忠
14:00	14:20	0:20 東アジア汚染気塊の輸送中の無機エアロゾル組成の変化 ○北 和之、瀬戸崇史 (茨城大理)、近藤豊 (東大先端研)、畠山史郎 (国立環境研)
14:20	14:40	0:20 2005年11月7日の黄砂解析 ○牧田広道 (高松地方気象台)
14:40	14:55	0:15 休憩
海洋大気組成		
座長: 角皆 潤 (北海道大学大学院)		
14:55	15:15	0:20 夏季の太平洋中央部における大気成分の緯度変化 ○植松光夫、成田 祥、吉田健太郎、岩本洋子、井口秀憲、真野佑輝 (東大海洋研)、三浦和彦 (東理大)、村山利幸 (東京海洋大)
15:15	15:35	0:20 海洋大気における生物起源硫酸塩と輸送される人為起源硫酸塩の役割 ○成田 祥、吉田健太郎、岩本洋子、近藤雅輝、植松光夫 (東大海洋研)
15:35	15:55	0:20 下層雲 (海霧) の横断面における粒径と化学組成の変化 ○吉田健太郎、成田祥、Frank Griessbaum、植松光夫 (東大海洋研)
15:55	16:15	0:20 北太平洋亜寒帯域で行われた鉄散布実験 (SEEDS-II) における大気と海水のDMSの挙動 ○永尾一平 (名古屋大学)、橋本伸哉 (静岡県立大学)、加藤俊吾、梶井克純 (首都大学東京)、植松光夫 (東大海洋研)
16:15	16:30	0:15 休憩
16:30	18:30	2:00 ポスターセッション (全ポスター展示、奇数ポスター説明)
18:30	20:00	1:30 大気化学研究会 運営委員会

1月12日 9:00 開始		
対流圏 - 物質分布と輸送		
座長: 石島 健太郎 (地球環境フロンティア)		
9:00	9:20	0:20 オゾン・CO の全球分布・収支の起源と全球規模長距離輸送 ○須藤健悟、秋元肇 (地球環境フロンティア)
9:20	9:40	0:20 空気塊の移動の空間・時間スケールのグローバルマップ ○風岡亮・木田秀次 (京大院・理)
9:40	10:00	0:20 民間航空機を利用した温室効果気体の定期観測 ○町田敏暢 (環境研)・松枝秀和 (気象研)・澤庸介 (気象研)・中川由起夫 (JAL)・近藤直人 (JAMCO)・石川和敏 (JAXA)・中澤高清 (東北大)・末永民樹 (日航財団)
10:00	10:20	0:20 衛星搭載型温室効果気体観測用差分吸光ライダーの概念検討 ○中島英彰、杉本伸夫 (国立環境研究所)、D. Sonnenfroth, 中村卓 (PSI Corp.)
10:20	10:35	0:15 休憩
特別セッション(公募): 大気組成の数値予報 ~現状とこれから~		
コーディネーター/座長: 庭野将徳 (地球環境フロンティア)、岩崎俊樹 (東北大学)		
10:35	10:40	0:05 趣旨説明 庭野将徳 (地球環境フロンティア)
10:40	11:00	0:20 (招待講演) 予報誤差成長に関する理論と応用—化学組成予報への適用を目指して— ○向川 均 (京大防災研)
11:00	11:20	0:20 (招待講演) 気象庁における大気組成の数値予報の現状 ○眞木貴史、海老田綾貴、石水貴久、安達正樹、鈴木健司 (気象庁)
11:20	11:40	0:20 (招待講演) 領域モデルを用いた大気質予報の現状と問題点 ○菅田誠治 (国立環境研)
11:40	12:00	0:20 ナッジング化学輸送モデルを用いた大気組成シミュレーション ~気象場同化手法の検証~ ○宮崎和幸、岩崎俊樹 (東北大学院院)、柴田清孝、出牛真、関山剛 (気象研)
12:00	12:20	0:20 「全球化学天気予報」における輸送課程の検証実験 ○滝川雅之、須藤健悟、秋元肇 (地球フロンティア)、高橋正明 (東大CCSR)
12:20	12:40	0:20 アジアにおける大気質のクライマトロジー: 標準化と統合化によるモデル解析 ○谷本浩志 (環境研)
12:40	13:40	1:00 昼食
VOCs/有機エアロゾル		
座長: 松本 淳 (名大STE研)		
13:40	14:00	0:20 東京におけるオキシダント生成速度・レジーム推定: OH, HO ₂ ラジカル濃度実測から ○金谷有剛、秋元肇 (FRCGG/JAMSTEC)、横内陽子、谷本浩志 (国環研)、小池真 (東大院理)、福田真人、竹川暢之、駒崎雄一、近藤豊 (東大先端研)
14:00	14:20	0:20 トルエン/NO _x /空気酸化系で生成する二次有機粒子の組成分析 ○佐藤 藤、畠山史郎、今村隆史 (国立環境研)
14:20	14:40	0:20 オゾン-オレフィン反応で生成する有機エアロゾル-レーザーイオン化個別粒子質量分析計による解析 ○成川正広、松見豊、高橋けんし (名大STE研)、佐藤 藤、今村隆史 (国立環境研)
14:40	15:00	0:20 中国14都市における有機エアロゾルの組成: 夏と冬における分布の特徴 G. Wang, ○河村公隆 (北大低温研)、J. Cao (Chinese Academy of Science), S. C. Lee (HK Polytechnic University)
15:00	15:15	0:15 休憩
VOCsの発生と分布		
座長: 斉藤拓也 (国立環境研)		
15:15	15:35	0:20 東京都心部における非メタン炭化水素類の放出源寄与率の季節変化 ○白井知子 (環境研)、横内陽子 (環境研)、D. R. Blake (UCI)、北和之 (茨城大)、泉克幸 (東洋大)、福田真人、駒崎雄一、近藤豊 (東大先端研)
15:35	15:55	0:20 コナラ属樹木から大量に放出されるイソブレン ○谷 晃、河和田 唯惇、戸崎 大輔、川野 美有紀、岩上康 (東海大開発工)
15:55	16:15	0:20 PTR-TOFMSを用いた大気中有機化合物の高速多成分測定装置の開発 ○青木 伸行、猪俣 敏、谷本 浩志 (国立環境研)、定永 靖宗 (大阪府立大)、廣川洋 (北大)
16:15	17:00	0:45 大気化学研究会 会員総会
17:00	19:00	2:00 ポスターセッション (全ポスター展示、偶数ポスター説明)
19:00	21:00	2:00 懇親会

1月13日 9:00 開始		
成層圏 - 物質分布と輸送		
座長: 入江仁士 (地球環境フロンティア)		
9:00	9:20	0:20 化学気候モデルバリデーション (CCMVal) シナリオに基づいたオゾン層変動の数値実験 ○秋吉英治、吉識宗佳、永島達也、今村隆史、Zhou Libo (国立環境研)、高橋正明 (東大気候システム)、黒川純一 (富士通FIP)、滝川雅之 (地球環境フロンティア)
9:20	9:40	0:20 時間閾値解析法 (TTD) を用いた成層圏極渦の孤立性と鉛直流の解析 ○菅田誠治、秋吉英治 (国立環境研)、神沢博 (名大院環境学)

9:40	10:00	0:20	地上および衛星観測に基づく南極オゾン層回復過程3次元構造の研究	○佐藤薫(東大理)、富川喜弘、橋田元、門倉昭(極地研)、村田功(東北大)、中島英彰、杉田考史(環境研)
10:00	10:20	0:20	1997年冬季北極におけるReference Tracer Methodを用いた脱窒の推定	○戸田庸子、林田佐智子(奈良女子大・理)、杉田考史(国立環境研究所)、入江仁士(地球環境フロンティア)
10:20	10:40	0:20	QBOにおける大気場と化学種の位相関係について(その2)	○柴田清孝、出牛真(気象研究所)
10:40	11:00	0:20	チリ共和国アタカマ高地におけるミリ波大気観測の進捗と22GHz帯水蒸気ラジオメーターの開発・観測計画	○水野亮、長浜智生、前澤裕之、桑原利尚、鳥山哲司、杉本朋世、松浦真人、村山智史(名大STE研)、森平淳志(アルバック)、水野範和、大西利和、南谷哲宏、笹子宏史、竹内友岳、山本宏明、福井康雄(名大理)、神沢博(名大環境学)、小川英夫、米倉寛則(大阪府大)、中根英昭、秋吉英治(環境研)
11:00	11:15	0:15	休憩	
			エアロゾル - 粒径別組成	座長: 大木淳之(北海道大学大学院)
11:15	11:35	0:20	Single Particle Soot Photometerのエアロゾル粒径、混合状態の測定性能に関する研究	○茂木信宏、近藤 豊、駒崎雄一、桑田幹哲(東大先端研)、榎原研正、桜井 博(産総研)
11:35	11:55	0:20	X線吸収法によるエアロゾル中のイオウの粒径別スペシエーション	○高橋嘉夫(広大院理)、金井豊(産総研)、上岡晃(産総研)、太田充恒(産総研)、清水洋(広大院理)
11:55	12:15	0:20	レーザーイオン化個別粒子質量分析装置によりつくばで観測された大気エアロゾル組成の特徴	○松本淳・高橋けんし・松見豊(名大STE研)、藪下彰啓(堀場製作所)、杉本伸夫・松井一郎・清水厚(国立環境研)
12:15	12:35	0:20	巨大粒子(NAT岩~不可視巻雲程度の粒径)の赤外スペクトルの実験的解析方法	○佐藤 優、瀬戸口修、山田耕一(産総研)
12:35	12:55	0:20	エアロゾルの化学特性を考慮した雲粒子スペクトルモデルの開発	○梶野瑞王(京大防災研)、植田洋匡(酸性雨研究センター)

ポスター発表

1	大気中N2O濃度の空間分布と季節変動について— 観測とモデルの比較—	○石島健太郎、Prabir K. Patra、滝川雅之、秋元肇(FRCGG)、中澤高清、青木周司、石戸谷重之(東北大院理)、Shamil Maksyutov、町田敏暢(環境研)、菅原敏(宮城教育大)、橋田元、森本真司(極地研)
2	微生物のN2O還元のアイソトポマーによる解析	○水野香(東工大院総理工)、豊田栄、ナリンブタノン(東工大院総理工、科学技術振興機構)、山岸明洋(環境研)、木庭啓介(東工大院総理工、科学技術振興機構)、丹治保典(東工大院生命理工)、吉田尚弘(東工大院総理工、科学技術振興機構、東工大フロンティア創造セ)
3	水田から発生するハロゲン化メチルの観測	○小森大輔(東工大)、須藤重人(農環研)、田中ゆかり(東工大)、八木一行、西村誠一、秋山博子、林健太郎(農環研)、豊田栄、山田圭大、木庭啓介、吉田尚弘(東工大)
4	熱帯シダ植物からの塩化メチル放出量と環境要因との関係	○斎藤拓也、横内陽子(国立環境研)
5	オープンパスFTIR分光法とクローズドチャンバー法を用いた水田からのガス収支の測定	○榎本隆典、小林大起、吉村季織、武藤由子、候紅、本林隆、渡辺裕純、豊田剛己、西村拓、細見正明、高柳正夫(東農工大)
6	オープンパスFTIR分光法と熱収支ボーエン比法を用いた水田から発生するガスの観測	○小林大起、榎本隆典、吉村季織、高柳正夫、青木正敏(東農工大)
7	北海道母子里におけるVOC長期観測	○加藤俊吾、梶井克純、瀬良正幸、松見豊
8	マレーシア大気中の非メタン炭化水素の濃度測定	○田中ゆかり1、須藤重人1,2,3、Lim Sze Fook4、吉田尚弘1,2,5 (1.東工大院総理工、2科学技術振興機構、3農環研、4マレーシア気象局、5東工大フロンティア創造セ)
9	沖縄辺戸岬で観測したエアロゾル炭素成分の季節変動と気塊履歴依存性	○今井孝典(筑大院環境)、高見昭憲、三好猛雄(国立環境研)、下野彰夫(三友プラントサービス)、加藤俊吾、梶井克純(首都大学東京)、畠山史郎(国立環境研、筑大院環境)
10	湿性沈着した鉱物粒子の粒径分布と鉄溶解特性	○大木淳之、乗木新一郎(北大院地球環境)
11	酸性ガスの取り込みに伴う鉱物エアロゾルの物理・化学的変質	○松木篤1、岩坂泰信1、石廣玉2、陳彬2、張代洲3、山田丸1、ディミトリ トロスキン1、金潤爽1、長谷徹志4、長谷正博4、中田澁4、宮澤武志5(1-金沢大 2-中国科学院 3-熊本県立大 4-名古屋大 5-神戸製鋼)
12	日本上空に輸送されたダスト層の起源と輸送構造についての数値的解析	○佐竹晋輔(地球研)、鶴野伊津志(九大応力研)、早坂忠裕(地球研)
13	熱抽出-SMPSを用いた都市大気黒色炭素エアロゾルに関する研究	○原玉大輔、近藤豊、駒崎雄一、竹川暢之、宮崎雄三、茂木信宏、出口清児(東大先端研)、白井忠(東京ダイレック株)、下野彰夫(三友プラントサービス株)
14	液化粒子捕集装置と高速液体クロマトグラフを用いた大気中の多環芳香族のオンライン計測	○駒崎雄一、宮崎雄三、近藤豊、竹川暢之(東大先端研)、白井忠(東京ダイレック)、下野彰夫(三友プラントサービス)
15	都市大気中の低分子ジカルボニルとカルボン酸の日変化と変動要因	○奥沢和浩(北大院地球環境、北大低温研)、持田隆宏、河村公隆、Haobo Wang、James Bendle(北大低温研)
16	紫外・可視域における太陽放射のエアロゾルによる減衰	○原伸樹、近藤豊、竹川暢之、駒崎雄一、宮川拓真(東大先端研)、R. McKenzie、P. Johnston(NIIWA)
17	春季済州島での雲凝結核濃度変動に関する研究	○中村育代、小池 真(東大院理)、近藤 豊、桑田幹哲、宮崎雄三、駒崎雄一、児玉大輔(東大先端研)、谷本浩志(環境研)、松枝秀和(気象研)
18	海洋上の混合層形成に伴うエアロゾル粒子群の変質	林政彦、○神谷佳輝、東ひとみ、尾塚馨一、山下克也、声田政巳(福岡大学理学部)、岡部和夫(株)スカイリモート)
19	海洋境界層における新しいハロゲンサイクルの発見	○江波進一(京大院工)、橋本訓(京大院工)、川崎昌博(京大院工)、戸野倉賢一(東大環安研セ)、田地川浩人(北大院工)
20	鉄散布実験時に観測された表面海水中微量気体組成の経時変動とその原因	○亀山宗彦、○角皆 潤、笹川基樹、中川書子、小松大祐、井尻院(北大院理)、津田敦(東大海洋研)
21	新たなエアロゾル生成初期過程~NO3とヨウ化アルキル類との反応~	○釜口博美、中野幸夫、石渡孝(広市大情報)
22	10xラジカルによるエアロゾル生成	○今浜宏紀、○星野洋輔、山中崇嗣、江波進一、橋本訓、川崎昌博(京大院工、地球環境)
23	イソプレンのオゾン酸化による二次エアロゾル生成	○シンジャワ(国環研)、○小野美由紀、黒田絢子(日本女子大)、佐藤圭(国環研)、小尾欣一(日本女子大)、今村隆史(国環研)
24	真空紫外レーザーによるジメチルエーテルと塩素原子との大気化学反応の解析	○山崎 文、高橋 けんし、松見 豊(名大院理、名大STE研)
25	対流圏におけるケトンと塩素原子との反応速度定数の計測	○岩崎絵梨果、高橋けんし、松見 豊(名大院理、名大STE研)
26	気相中におけるC6H6-HラジカルのLIF検出とその反応性	○中嶋吉弘、シンジャワ、猪俣敏、今村隆史(国立環境研)

27	大気圧条件下でのN2O5熱分解反応の測定	○中山 智喜、井出 智幸、高橋 けんし、松見 豊 (名大STE研)
28	青紫色半導体レーザーを利用した大気NO2計測装置の開発および実大気測定	○川合恵巳、竹谷文一、高橋けんし、松見豊 (名大院理・名大STE研)
29	キャビティリングダウン分光法を用いた大気中のNO3およびN2O5の計測装置の開発	○井出 智幸、中山 智喜、松本 淳、高橋 けんし、松見 豊 (名大院理、名大STE研究所)
30	アラスカ域自由対流圏CO、HCNの季節変動とその要因—シベリア森林火災との相関—	○笠井康子(NICT)・香川晶子(NICT、富士通FIP)・ニコラスジョーンズ(ウオロンゴン大)・村山泰啓(NICT)
31	大気化学モデル(CHASER)を用いたアラスカ上空対流圏COの季節変化の解析	○比連崎路夫(東大理)、須藤健悟(地球環境フロンティア)、岩尾航希、高橋正明(東大気候センター)、笠井康子、香川晶子、村山泰啓(情報通信研究機構)
32	CMAQを用いた東アジアにおける対流圏オゾンの季節変動特性の解析	○山地 一代(FRCGC、JAMSTEC)、大原 利真(NIES)、鶴野 伊津志(九州大学)、谷本 浩志(NIES)、黒川 純一(富士通FIP)、秋元 肇(FRCGC、JAMSTEC)
33	日本の都市域から排出される汚染物質の輸送と変質に関する数値シミュレーション	○倉田学児、呉戦平、北田敏廣 (豊橋技科大)
34	3次元モデルを用いた都市大気における2次有機エアロゾルの生成過程に関する研究	○松井仁志、小池 真(東大院理)、近藤 豊、竹川暢之、宮川拓真(東大先端研)、大原利真、菅田誠治(国立環境研)、倉田学児(豊橋技科大)
35	つくばにおける大気中85Kr	○時枝隆之、和田晃、松枝秀和、五十嵐康人、○澤庸介(気象研究所・地球化学研究部)
36	降雨時の高γ線量率事象の季節変化と地域特性について(I)	五十嵐康人1、千葉 長1、猪股弥生2、田中泰宙1、青山道夫1、広瀬勝己1(1:気象研究所、2:金沢大21世紀COE)
37	降雨時の高γ線量率事象の季節変化と地域特性について(II)	○千葉 長1、五十嵐康人1、猪股弥生2、田中泰宙1、青山道夫1、広瀬勝己1(1:気象研究所、2:金沢大21世紀COE)
38	Airborne-OPUSによるオゾンカラム量導出における誤差要因	○仲田季寧、北和之(茨城大院理)、鈴木睦、塩見慶(JAXA/EORC)、奥村真一郎(日本スペースガード協会)
39	GOMEセンサーで得られた対流圏オゾンの検証と初期解析結果	○瓜田直美、太田絵美、野口克行、林田佐智子(奈良女子大学・理)、J. R. Ziemke(NASA GSFC)、X. Liu、K. Chance(Harvard-Smithsonian center for Astrophysics)
40	SAGE II エアロゾルの季節・経年変動	○庭野 将徳(FRCGC/JAMSTEC)、秋吉 英治(国立環境研)、高橋正明(東大 CCSR、FRCGC/JAMSTEC)、古谷 望(松下電機産業)、林田 佐智子(奈良女子大学)
41	ICESat/GLAS データを用いた絹雲の高度分布の解析	○江口菜穂、横田達也、井上元(国立環境研)
42	つくば地上高分解能FTSを用いたメタン1.67μm帯の吸収スペクトル観測	○大山博史(神戸大院総合人間、国立環境研)、森野勇(国立環境研)、長浜智生(名大STE研)、杉本伸夫、中根英昭(国立環境研)、中川和道(神戸大発達)
43	母子里における大気微量成分(CO、C2H6、C2H2)の地上観測とコラム量観測の比較	○鈴木勝久(横国大教育人間科学部)、長浜芳寛(横国大環境情報学府)、加藤俊吾、梶井克純(首都大学東京)
44	オゾンゾンデデータから見た熱帯対流圏界面近傍のオゾン変動	○高島久洋(京大生存圏研)、塩谷雅人(京大生存圏研)
45	モデルで再現される成層圏—対流圏物質交換の鉛直解像度依存性	○出牛真、柴田清孝(気象研)
46	中緯度成層圏におけるオゾンの長期変動について	○長浜芳寛(横国大環境情報)、鈴木勝久(横国大教育人間科学)
47	南極極夜域のオゾン濃度の高度分布	○忠鉢 繁(気象研)
48	Mid- and high- latitude N2O distributions in Northern Hemisphere in early and late vortex breakup years	○Zhou Libo、秋吉英治(国立環境研)
49	二酸化炭素の4.3μm帯における吸収線形の測定	○深堀正志、藤枝 鋼(気象研究所)
50	低温下におけるCH4のν3帯吸収線パラメータ	○藤枝 鋼、深堀正志(気象研究所)、熊沢亮一、渡邊 猛(東レリサーチセンター)
51	連続光キャビティリングダウン分光法による二酸化炭素吸収線の圧力広がり測定	黒崎陽介、○福田久人、橋本訓、川崎昌博(京大院工)、森野勇、須藤洋志、井上元(国立環境研)
52	GOSAT による二酸化炭素カラム濃度導出のための巻雲物理量	○吉田幸生、横田達也、井上元(国立環境研究所 地球環境研究センター GOSAT 研究チーム)
53	地上分光観測からの高度分布導出のための光学系の調整と装置関数の決定	○村田 功(東北大環境)、中島 英彰(環境研)、福西 浩(東北大理)
54	南米チリにおける成層圏・中間圏H20のミリ波観測	○桑原利尚・長浜智生・前沢裕之・杉本知世・松浦真人・村山智史・鳥山哲司・水野亮(名大STE研)・森平淳志(株式会社Ulvac)・電波天文グループ(名古屋大)
55	チリで観測されたH2_180の高度別時間変動	○杉本朋世、長浜智生、前澤裕之、桑原利尚、松浦真人、村山智史、水野亮(名大STE研)、森平淳志(ULVAC)
56	成層圏・対流圏OHラジカルの計測のための次世代THz帯ヘテロダイナミクスセンサーの開発	○前澤裕之、水野亮、長浜智生、桑原利尚、松浦真人、村山智史、杉本朋世、鳥山哲司(名大STE研)、山本智、新保謙(東大理)
57	ミリ波2周波観測システムの開発	○松浦真人、水野亮、長浜智生、前澤裕之、鳥山哲司、桑原利尚、村山智史、杉本朋世(名大STE研)、森平淳志(ULVAC)
58	ミリ波による中間圏大気組成変動観測計画	○長浜智生、水野 亮、前澤裕之、桑原利尚、杉本朋世、松浦真人、村山智史(名大STE研)、森平淳志(ULVAC)
59	JEM/SMILESの観測装置開発状況	○稲谷順司(JAXA)、JEM/SMILESミッション・チーム(JAXA、NICT)
60	JEM/SMILES観測誤差解析	○高橋千賀子(FIP)・笠井康子(NICT)・星野創(FIP)・J Urban(Ghalmers Univ.)・稲谷順司(JAXA)・落合啓(NICT)・鈴木睦(JAXA)・増子治信(NICT)・SMILESリトリーバルチーム
61	気球搭載型サブミリ波サウンダによる成層圏微量成分の観測	○入交芳久、落合啓(NICT)、真鍋武嗣(大阪府立大)、山上隆正、齊藤芳隆、井筒直樹、川崎朋美、並木道義(ISAS/JAXA)、村田功(東北大)、佐藤薫(東大理)
62	航空機搭載超伝導サブミリ波サウンダASURIによる成層圏オゾン同位体の観測	○元木拓也(東京学芸大・NICT)、杉本朋世(名大STE)、高橋千賀子(NICT・富士通FIP)、笠井康子(NICT)、松田佳久(東京学芸大)